

2023年5月18日(木)

愛知県美術館

プレスリリース

幻の愛知県博物館

Aichi Prefectural Museum That Might Have Been

現在愛知県には、県立の総合博物館がありません。けれども明治時代に遡ると、この地に「愛知県博物館」は確かに存在していました。1878(明治11)年に県が民間からの寄附金を集めて建てた博物館は、古く貴重な文物から味噌や醤油、酒、木材、織物、陶磁器、絵画、機械、動植物等々、国内外のあらゆる物産を集め、人々の知識を増やして技術の発展を促そうとしました。まだまだ博物館をどういう施設にすべきか方向の定まらぬ時代に、同館は先進的な商品見本を展示・販売して県下の産業を刺激する商品陳列館へと、徐々に姿を変えていきます。日本各地に博物館や美術館が建設されるなかでいつの間にか忘れられてしまった、殖産興業に比重を置く総合的な産業技術博物館としての「愛知県博物館」へ、時空を超えてみなさんをお招きします。

展覧会名 | 幻の愛知県博物館 Aichi Prefectural Museum That Might Have Been

会 期 | 2023年6月30日(金) - 8月27日(日) [51日間]

開館時間 | 10:00 - 18:00 金曜日は 20:00 まで (入館は閉館の30分前まで)

休 館 日 | 毎週月曜日 (7月17日 [月・祝] は開館)、7月18日 (火)

会 場 | 愛知県美術館 (愛知芸術文化センター10階)

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2

美術館ウェブサイト <https://www-art.aac.pref.aichi.jp/>

アクセス | 地下鉄東山線・名城線「栄」駅 / 名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、

オアシス 21 連絡通路利用徒歩 3 分

チケット | 一般 1,000 (800) 円、高校・大学生 800 (600) 円、中学生以下無料

※ () 内は前売券および 20 名以上の団体料金です。

※上記料金で本展会期中に限りコレクション展もご覧になれます。

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳(愛護手帳)、特定医療費受給者証(指定難病)のいずれかをお持ちの方は、各券種の半額でご観覧いただけます。また付き添いの方は、各種手帳(「第1種」もしくは「1級」)または特定医療費受給者証(指定難病)をお持ちの場合、いずれも1名まで各券種の半額でご観覧いただけます。当日会場で各種手帳(ミライロ ID 可)または特定医療費受給者証(指定難病)をご提示ください。付き添いの方はお申し出ください。

※学生の方は当日会場で学生証をご提示ください。

主 催 | 愛知県美術館、中日新聞社

問合せ先 | 愛知県美術館 TEL 052-971-5511 (代)

見どころ

1章 旅する金鯨

博物館のオープン記念博覧会で来場者を出迎えたのは、「無用の長物」として名古屋城天守から降ろされた金鯨でした。世界を旅した金鯨とともに、陸軍省から宮内省、そして名古屋市へと受け継がれ国宝に指定された名古屋城自体の歴史を追いかけながら、激動の時代の文化財と博物館を考えます。



1



2

2章 幻の愛知県博物館

1878（明治 11）年に名古屋・大須に誕生した博物館は、5年後に愛知県博物館と改称して県立の博物館となり、その後も愛知県商品陳列館、愛知県商品陳列所、愛知県商工館と、名を変えながら活動を続けました。貴重な文物を守り、手本となる商品を世界中から集め、美術家たちに展示場所を提供する、そんな多種多様な博物館活動を、当時の資料を交えながらご紹介します。



3



4

3章 ものづくり愛知の力

古代から現在まで無数の産業が生まれ発展してきた、ここ愛知県。明治時代から昭和時代初期にかけて愛知県博物館が収集した殖産興業のための資料のほとんどは、戦後引き継がれることなく失われてしまいました。総合的な産業技術博物館としてありえたかもしれない幻の愛知県博物館の目を通して、弥生時代の木製品から現代の化粧品原料まで、ものづくり愛知の力を見つめ直します。



5



6

関連イベント

① 記念講演会「愛知県商品陳列館とその時代」

講師：三宅拓也（京都工芸繊維大学助教）

日程：7月22日（土）13:30-15:00

会場：アートスペース A（愛知芸術文化センター12階）

定員：先着90名

※申込不要・聴講無料。開始時刻に会場にお集まりください。

② スライドトーク（学芸員による展示説明会）

日時：7月8日（土）、7月30日（日）、8月20日（日）各回11:00-11:40


7月14日（金）18:30-19:10

会場：アートスペース A（愛知芸術文化センター12階）

定員：各回先着90名

※申込不要・聴講無料。開始時刻に会場にお集まりください。

その他



〈ウラ〉

記念カード

愛知芸術文化センター
幻の愛知製糖博物館

〈オモテ〉

愛知製糖博物館

展示物にちなんだ
来場記念カード(日替り51種+レア)を
毎日先着順でプレゼント!

※図はイメージです ※1名につき1枚

「幻の愛知県博物館」広報用画像申込書

※ご掲載にあたっての注意事項

- ・本展広報用画像の使用は、展覧会の紹介を目的としたものに限らせていただきます。ご使用可能期間は本展覧会終了までです。
- ・ご使用の際は下記のキャプション情報（作家名、作品名、所蔵者名、画像クレジット等）を全てご掲載ください。
- ・画像は全て全図でご使用ください。トリミング、縦横比の変更、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- ・展覧会情報の確認のため、校正原稿を事務局宛に FAX またはメールでお送りください。
- ・掲載誌（紙）、録画 DVD 等を事務局宛に 1 部ご恵贈願います。ウェブ媒体の場合は掲載 URL をお知らせください。

【作品画像キャプション】

1. 昇齋一景《東京名所三十六戯撰 元昌平坂博覧会》1872（明治 5）年、一般財団法人名古屋城振興協会
2. 大阪造幣局《丸八文様鯨環付真形釜》1969（昭和 44）年、名古屋城
3. 絵葉書「名古屋俘虜収容所俘虜製作品展覧会」1919（大正 8）年、名古屋市博物館
4. 愛知県立明倫中学校附属博物館旧蔵の骨格標本「羚羊ノ頭骨」明治時代中期、学習院中・高等科
5. 【重要文化財】朝日遺跡出土木製農具（鋤、鋤先・柄、田下駄）、弥生時代、あいち朝日遺跡ミュージアム
6. ウフレヒト（ドイツ）《シュガーボックス》1931（昭和 6）年購入、国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター所蔵 愛知県陶磁美術館管理

媒体名： _____

ジャンル： _____

掲載・放送予定日： _____

貴社名： _____

ご担当者名： _____

E-mail： _____

所在地：〒 _____

電話： _____

問い合わせ先／校正原稿等の送付先

幻の愛知県博物館展実行委員会事務局

展覧会内容に関すること：塩津、副田

広報掲載に関すること：宮谷

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2

TEL: 052-971-5511（代）／FAX: 052-971-5604

E-mail: art11@aac.pref.aichi.jp